



一本道

相良中学校通信No.20

令和5年10月6日

校長 吉田憲一

学校教育目標 「元気と挑戦で 成長を」

1 「朝の読書大賞」、全国の中学校で1校受賞。

日本トップ級の「読書の学校」

9月15日、東京から一本の電話が入りました。「おめでとうございます。第16回高橋松之助記念『朝の読書大賞』の受賞が決定いたしました。」といううれしい電話でした。全国の中学校で1校のみの受賞です。

相良中学校は、朝の読書を始めて25年目になり、毎日20分の朝の読書を始めて10年目になります。この歴史、そして図書委員会や図書司書、国語の先生を中心とした学校総体の読書活動により、中学生が年間一人平均70冊もの本を借りて読んでいるのです。まさに、日本トップ級の「読書の学校」です。11月6日に東京にて贈呈式が行われ、私と図書司書の鶴口先生で参加し、表彰状とトロフィー、副賞30万円を頂いてきます。副賞は、生徒たちや先生方、そして学校に還元していきたいと思っています。

朝の読書4原則

みんなでやる
毎日やる
好きな本でよい
ただ読むだけ

2 「校長授業：1年道徳」、1年生の「発表力」

good!

10月4日、校長授業として1年生の道徳の授業を行いました。前日に係の生徒が「何か準備するものはありますか？」と尋ねてきたので「じゃあ、『発表力』を準備しておいてね。」と伝えました。テーマは「心の弱さを乗り越えるために」で教材が「銀色のシャープペンシル」です。中心発問は「ぼくは、①・②・③のどこで謝るべき？なぜ？」でした。3つから選択し、1つに焦点化する思考方法です。その後、自分を見つめる発問として「自分ならば、どこで謝る？なぜ？」を問いました。ペア発表や全体発表、反対意見の発表等、一人平均4回程度発表をし、とても活発な伝え合いとなりました。1年生の発表力お見事でした。

2人の「振り返り」の一部を紹介します。

田上まなみさん「心の弱さを乗り越えるためには、自分の気持ちをしっかり伝えることが大切だと思います。これまで私は～」

山下りゅうせい君「心の弱さを乗り越えるためには、自信を持って行動することが大切です。理由は～」



3 郡市中体連駅伝大会の推戴式、代表生徒の抱負

10月6日、郡市中体連駅伝大会の推戴式を行いました。夏休みから約2カ月半、練習を積み重ねてきた20名が、1週間後の10月13日、あさぎり中学校をスタート・ゴールとする本大会に臨みます。女子(5区間)は10時スタート、男子(6区間)は12時スタートです。駅伝部キャプテン吉松あきと君の抱負の一部を紹介します。



相良中HPへ

今までたくさんのきつい練習がありました。そのたびにみんなで声を掛け合い、切磋琢磨しながら取り組んできました。本番では、走る人も走らない人も全員で一丸となって、一本のタスキをつないでゴールを目指します。

